

広

報

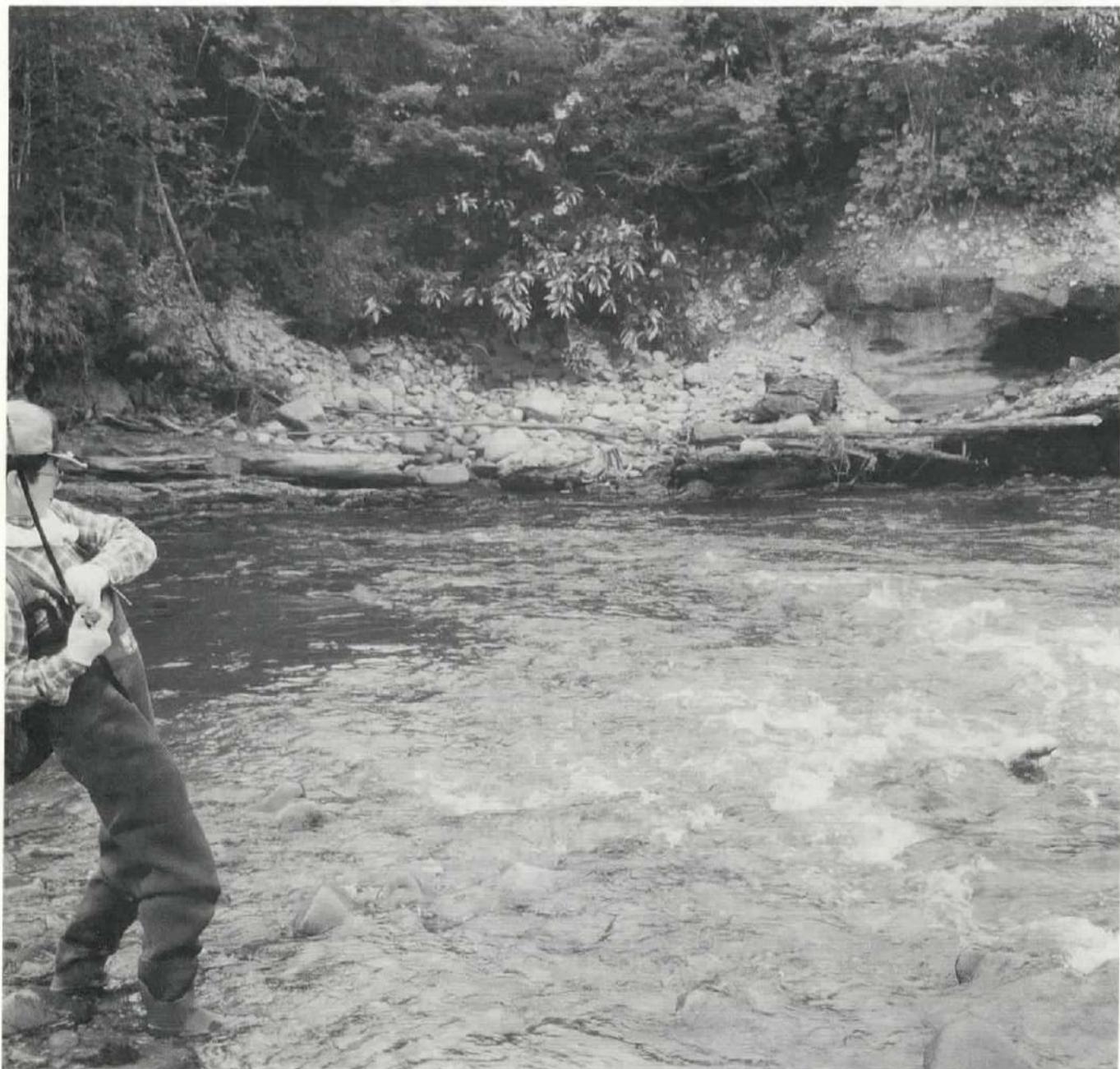
しべ

9

1995

No. 343

萌える海と大地 さわやか交流郷



◆忠類川で全国初の
サケ・マス釣獲
調査スタート！

◆災害時に備え
「防災行政無線」
設置へ（全戸に戸別
受信機も）

写真：忠類川でのサケ・マス釣獲調査
でカラフトマスを釣り上げよう
と、力が入る。
(8月18日、午前5時ごろ)



調査スタート!

サケ・マス釣獲

忠類川で

スタート時点では50センチ前後のカラフトマスが釣られている(重さ1.5~2キロ)



本町のほぼ中央を流れる忠類川には、毎年五千〜六千匹の秋サケがそ上、これを捕獲し増殖再生の親魚として活用してきました。

しかし、サケの増殖事業の見直しで本年度から全道の親魚捕獲河川百十八を七十九に減らしたのに伴い、忠類川も捕獲事業を廃止することになりました。

このため、町が中心となりサケ・マスの有効利用を目的に、全国初の河川での釣具を用いた釣獲調査(一般的に河川にそ上した産卵間近いものは釣獲の対象とならないという定説があり、実際に調査して釣獲の対象になるか否かの調査)が八月十一日からスタート。全国から注目され、将来の忠類川でのサケ・マス釣りの解禁に向け期待されています。

九の捕獲廃止河川が内定。このため標津漁協は、捕獲廃止によるサケ・マスの密漁が懸念されることから、河川の秩序保持のための取り組みをしてきた。

その一つとして、忠類川にそ上するサケ・マスの有効利用のため、漁業への利用を考えたが、忠類川は「あばれ川」であるために河口付近での捕獲は難しく、また、河口の両隣場には地元漁業者のサケ定置網漁が行なわれおり、漁への影響が懸念されることからこれを断念した。

そこで、せっかくの資源なのでから有効に利用するべきと、遊漁者への釣りの開放を考えた。漁協が遊漁事業として実施していくために、その前段(準備)として町

が事業主体となり、サケ・マス有効利用調査が必要となり、道との協議を行った。

道との協議の結果

①初年度からの遊漁者への釣りは開放は無理(水産資源保護法の改正が必要のため)。

②調査事業として、おおむね三年実施すること(公正、公平な事実をとらえる意味から、町が実施主体の窓口になってほしい)。

③あくまでも調査事業なので、法律の枠内での対応とする(特別採捕許可の手続きにより、事前に登録を受け付け道知事の免許交付が必要となり、このため、複雑な事務手続きになっている)。

④釣獲調査結果の報告義務を。

して、標津ブランドへの貢献)。

②観光面や地域振興に大きな役割が果せる。

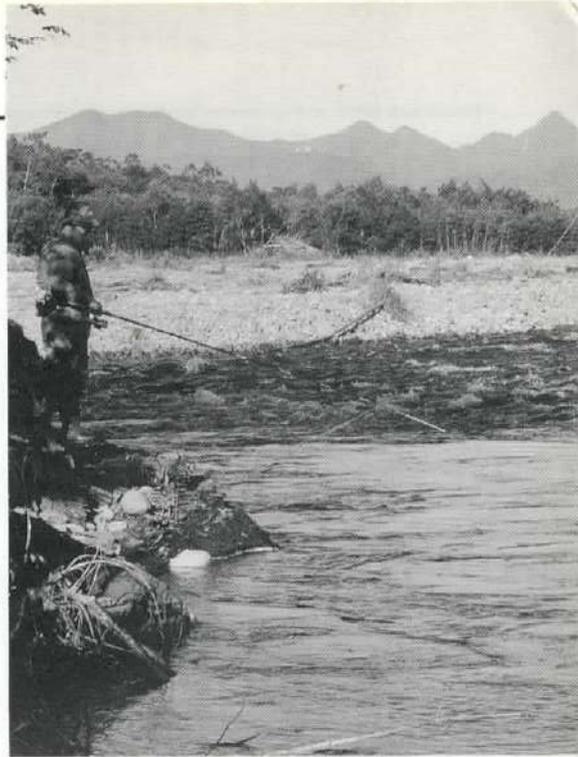
③無秩序になる河川を守れる(遊漁者同士が互いに監視できる)。

④国民に利益を与えながら、ふ化、放流事業の理解が得られる。

町をあげての歓迎ぶり

町内の旅館業組合と料飲店組合の加盟店では、忠類川釣獲調査のため来町した方には、料金の10%割引を行っています。

以上のとおり、本調査の結果次第では近い将来、忠類川でサケ・マス釣りが解禁される可能性もあり、町としても大きな期待を寄せています。



大自然に囲まれた忠類川で始まったサケ・マス釣獲調査

将来の解禁を目指して

月25日（採捕承認期間11月1日～12月10日）

■応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、応募申込先まで送付または持参。なお、調査期間を通して採捕従事を希望する人は写真（タテ3cm×ヨコ2.5cm）を同封のこと。

1日採捕従事者は随時可。受け付け締め切り日までに応募のこと。

■承認証の発行

①応募申し込み内容を審査後、適格者に釣獲調査を承認する「承認証」を発行（承認証は期間中有効）。

②採捕に従事する人は、承認証を標津町指定窓口で提示し、「採捕従事者カード」の交付を受ける。

■実費経費（採捕従事者に諸々の利便の向上を図るためのもの）

シーズン利用券（調査期間中を通して施設を利用される方）1万2千円※指定口座に振込み

1日利用券（調査期間中1日だけ施設を利用される方）3千5百円※町内施設利用券発行所で納入

■応募申し込み及び問い合わせ先 標津町役場水産商工観光課（☎01538・2・2131）、直通（☎01538・2・3465）へ。

忠類川サケ・マス有効利用釣獲調査の要項

■釣獲調査日程

期間＝平成7年8月11日から同12月10日まで。

時間＝夜明けから日没。

場所＝標津町忠類川（忠類川ふ化場から金山橋の下のイケシヨマナイ川との合流点までの本流区域）

■釣獲調査方法

①釣獲の方法は、ルアー、フライフィッシング、エサ釣りで行い、すべてシングルフックとする。

②釣獲調査に入る前に、必ず「釣獲調査票」に氏名、従事者ナンバー、釣獲開始時間を記入。「釣獲調査票」は各管理棟に配置。

③必ず採捕従事者カードを所持し、カードカバーに入れ、外部から見えやすい位置に身に付ける。

④釣獲調査終了後は「釣獲調査票」に釣獲結果、調査終了時間を記入し、釣獲したシロサケ、カラフトマスは、必ず管理棟に持参し、検体測定（体長、体重、性別）を行う。

■対象魚種
シロサケ、カラフトマス。

■応募資格
釣りマナー及び規則に精通している人（16歳未満は保護者同伴に限る）。

■応募日程
※第1・2次受け付けは終了。
第3次受け付け＝8月26日～9月25日（採捕承認期間10月1日～12月10日）
第4次受け付け＝9月26日～10月25日

（☎01538・2・3465）へ。

関係者の声…



標準漁協

鈴木輝英
組合長

有効利用日本一の浜を目指す

半世紀にも及び漁業者らが育ててきた資源を調査とはいえず、一般の人にサケ・マスを釣らせることに疑問の声があったのも事実。しかし、検討した結果、有効利用を考えると遊漁者に釣りを楽しんでもらうことが一番との結論となりました。

遊漁者の中には何十万円もかけてアラスカなどにサケ釣りに行くといいますが、忠類川はそれに負けない環境。標準は秋サケ漁獲高日本一ですが、今後は有効利用日本一の浜を目指したいです。



地元漁業者

布袋 貢さん
（忠類・実行組合長）



スポーツフィッシング協会標準支部長

藤本 靖さん

調査とはいえ、河川でようやく釣れるようになり、大変うれしい。漁協はじめ関係者のみなさんに感謝しています。私たち遊漁者は川を汚さずルールを守り、釣りを大いに楽しみたいのです。

8月釣獲調査の状況

日	従事者数	カラフトマス
11	31人	22匹
12	38	37
13	52	31
14	44	13
15	31	31
16	13	50
17	22	45
18	45	76
19	32	77
20	52	95
計	360	477

応募状況

▷第1次受付 485人
▷第2次受付 1,172人

災害時の不安を解消するため……

本年
度に

防災行政無線を導入

道東各地域に大きな被害を与えた昨年十月四日の「北海道東方沖地震」を前後に、各地で大規模な地震災害が発生しており、日本列島は、まさに地震活動期に入っていると言われています。

町では、防災計画を基に各種の防災対策を実施することとしており、現在、この計画の見直しと対策を行っています。

これら対策の一つとして、本年度に「標津町防災行政無線施設」を整備することといたしました。



この「防災行政無線」は、災害発生の際、町民のみなさんに情報を伝達する手段として導入するものです。

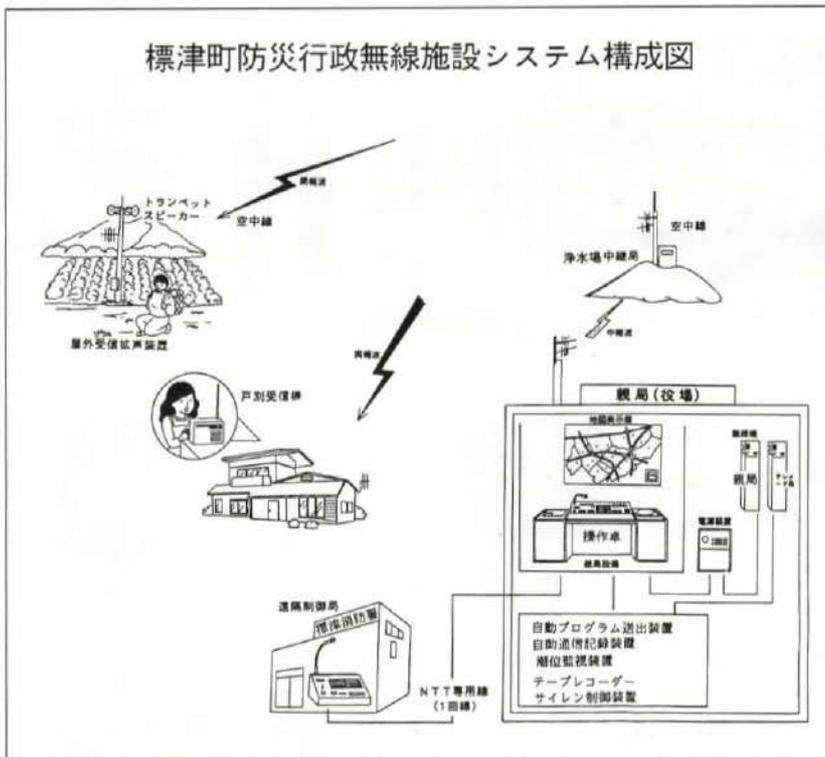
この行政無線を導入することにより、いち早く、正確な情報をお届けすることができ、安全性が高くなるものと期待しているもので、気象庁または札幌管区気象台が発表する「予報・警報」などは、気象衛星「ひまわり」から役場に届きます。この情報をみなさんの家庭に設置されている戸別受信機

戸別受信機を 全戸に設置

～正確な情報・いち早く町民に～

たは、町内の各拠点となっている箇所にて、設置する戸別受信機は、町内の各拠点となつていて、正確かつ迅速な情報伝達となります。また、平時には一般行

標津町防災行政無線施設システム構成図



政事務や行事などをリアルタイムでみなさんにお知らせすることにも利用が可能です、多目的に活用することが出来ます。

本町においても無線情報システムの活用により、さらに町民のみなさんにサービスの向上を図り、行政の推進に役立たせたいと考えています。

情報時代と言われている今日、



▲崩壊した町道茶志骨西4線

恐怖に さらされた 東方沖地震 1994 10・4



▲津波警報により総合体育館に避難した住民



▲集合煙突が倒壊、床や壁も破損した住宅（緑町）

確実な情報伝達が 被害を最小限に

これらに係る総事業費は、約二億六千二百万円。自治省消防庁の補助金と町単費で交付税措置のあ

られます。

この防災行政無線は、役場庁舎内に設置される「親局」と戸別受信機を「中継局」二局、町内全世帯および避難場所や町の公共施設に設置する「戸別受信機」が二千四百戸余り、このほか町内の各拠点十九箇所に「屋外拡声子局」を設置する計画です。このほか、夜間や休日の際の緊急事態に対応できるよう標準消防署からも放送が可能となる「遠隔制御局」が設けられます。

来年4月に 開局を目指す

この度導入する防災行政無線は、「防災まちづくり事業」として実施するものですが、現在九月中旬に着手すべく担当課で事務が進められています。

着手されますと、無線機器の作製を経て、皆様方の各家庭に戸別受信機が設置されることとなります。今後、町内各地域での防災行政無線導入の説明会が予定され、その中で設置方法や開局後の運用・管理について、ご理解をいただくこととしています。

「標津町総合防災訓練」を実施します

～町民多数の参加を～

- と き 10月4日(水)
- と ころ 鳩ヶ丘グラウンド
- 訓練内容 通信、避難、救助、初期消火ほか

昨年10月4日に発生した北海道東方沖地震では大きな被害を受け、今一度地震の恐ろしさを思い知らされました。

このことから町では、大規模な災害を想定した防災訓練を実施します。

※後日チラシなどで周知します。

★詳しくは、役場住民課（☎2-2131内線128）へ。

る起債などを財源としており、来年三月には試験放送を実施し、四月の開局を目指し工事が進められることとなります。

なお、具体的には今後発行の広報紙でお知らせいたします。



（※写真はいずれも一例です）

町内の全戸に設置される「戸別受信機」



町内の各拠点十九箇所に設置される「屋外拡声装置」

カメラ

スケッチ



7/30

しべつ港まつり
& 料飲店まつり

▶大歓声がわいた「スターマイン」

▲興奮気味の現金つかみ取り



▲わらび座と元気にソーラン節を歌い踊る



◀会場は二千人で賑わう

8/13

デーリーフェスティバル



▲力自慢が出場した「デーリーパワー」選手権 (写真は80kgに挑戦)



▲美味しい牛肉の食べ放題、ビール、ワイン、ジュース飲み放題とあって約1,200人は大満足

◀肉弾相打つ「丸太ロデオ」

夏の イベント



◀ 威勢の良い「みこし」



▲ 真っ赤なハッピーがお似合い



7/23

標津神社祭



熱唱！
カラオケ大会



▶ “真夏の夜の怪”は…「ノーコメント」



▲ 後ろのこわ〜い(?)ドラキュラが気になるのか
冷静に踊り続ける村山首相

▶ かわいいセーラーマーンが大集合だよ



(標津)

8/16

仮装盆踊り

力を合わせ

地引き網

薫別小中学校のPTA（梅木勝美会長）主催による地引き網体験会が、七月二十二日、薫別前浜で行われました。

薫別以外の海のない学校と交流を深めることも狙いの一つとしており、この体験会には同校のほか、古多穂、北標津小中、上古多穂小の子供たちや親も参加。

二、三百メートルもの大きな網を全員で力を合わせて手繰り寄せ、その網の中にはたくさんのカジカやカレイが飛び跳ね、早速、標津漁協婦人部の指導で調理し、カジカ汁やホタテ焼きを味わい、参加した子供たちは楽しい一日を過ごしました。



社会福祉協議会に 福祉活動車納車



この度、標津町社会福祉協議会に、福祉活動車が納車されました。

この福祉活動車は、赤い羽根共同募金の受配事業により、多くの町民から寄せられた寄付金を財源に町に還元されたもので、今後、地域福祉活動の推進に活用されます。

町身体障害者福祉協会（宮本越家会長）では、会員を募集しています。申し込みは、町社会福祉協議会事務局までご連絡ください。

旧根室標津駅跡地に仮設道路設置

この度、旧JR根室標津駅跡地に、旧駅前と緑町（西三条通り）を結ぶ仮設道路が新設されました。

この道路は、延長七十三メートル、全幅七・五メートル（歩道含む）で、防災及び都市計画上新設されたもの。近く町道として指定される予定となっています。

入館者数 50万人達成



八月十七日、サーモン科学館が平成三年九月のオープン以来、四年間で入館者数五十万人を達成し、

サーモン 科学館

同日、五十万人目に小田桐町長から記念の新巻鮭、チャンチャン焼きセット、同科学館のオリジナル商品が贈られました。

五十万人目となったのは、東京都大田区在住の私大職員、島田和彦さん（三十九歳）と妻栄子さん、長男裕章くん一家。

島田さんは、五十万人目ということで驚いていたものの、生きていくサケを見るのは初めてというだけに、「ゆっくりと鑑賞させてもらいます」と語っていました。

四年間で五十万人を達成したことに伴って同科学館は、「オープン当初は観光ブーム。その後の景気低迷で入館者は減少傾向にあるが、

シルバー勤労会が

「道路功労者表彰」受賞

昭和六十三年から八年間にわたり、市街地の植樹樹の除草及び花の植え込みなどを行い、道路の美化に貢献した功績が認められ、シルバー勤労会（榊憲悦代表・会員二十五人）が、八月十日、開発局の「道路功労者表彰」において表彰されました。

サーモン科学館 年間別入館者数

年度	入館者数
平成 3	76,767 ^人
平成 4	130,587
平成 5	124,889
平成 6	117,401
平成 7	36,541

※平成3年度は9月から、平成7年度は7月末まで。

現在ではツアーにも組み込まれており、この日の五十万人目を迎えたということは、着実に知名度が広がってきたといえる」と分析しています。

平成7年度 道路功労者表彰伝達式



今年も「標津魚の日」スタート



12月まで「毎週土曜日」開催

新鮮なサケ・マスやホタテを漁業者自らが格安販売する「標津魚の日」が、標津サケ・ホタテ消費流通対策協議会（戸田雅彦実行委員長）の主催により、今年も八月十二日から商工会前駐車場ですタートしました。この日が今年初開催ということもあり、午後一時の売り出し開始の三十分前から百人ほどの長蛇の列ができるほど。



用意した生マス五百匹（一匹四百〜五百円）、殻付きホタテ二ト（二キロ二百円）は開始四十分ほどですべて売り尽くし、その他、カレイ、カジカ、タラコなども好評で、会場は賑わいをみせていました。

なお、この「標津魚の日」は、今年十二月まで毎週土曜日、午後一時に開催されます。

サケ一〇〇％ソーセージを開発

このほど、町ふれあい加工体験センターでは、地元の新鮮なサケ肉一〇〇％の「標津サーモンソーセージ」を発売、サーモンハウスや町内の商店で販売されており、好評を呼んでいます。

同センターでは、今年三月に加工品を高温高圧殺菌するレトルト機械を導入したのに伴いソーセージの試作にかかり始め、その後町内の学校給食で試食してもらい、一部から意見があった魚独特の臭いを改善、試作を重ねてきました。

価格は二本セット（一本四〇g、百三十円で販売。同センター管理業務係の佐々木克之さんは「人によって味の好みが違うので味付に苦労した。チャーハンの具やサラダにも合う。保存料や合成着色料も一切使っていないので安心して食べてください」と話しています。



見事！全国優勝

日本空手協会標津支部



第三十八回全国空手道選手権大会が、七月二十九日から横浜市で行われ、全道大会を勝ち抜いた日本空手協会標津支部（早川弘三支部長）の選手たちも出場。団体戦二部門で初の全国優勝を果たしたほか、優勝を含め合計十部門で入賞するなど好成績を収めました。

全国各地の予選を勝ち抜いた強豪選手たちが出場する中で優勝したのは、男子小学生低学年の部の団体型に出場した数間充君（川北小二年）、荒谷勇介君（標津小一年）、中野百裕君（同）の三人。三

人は組手の部でも三位となり、中学女子の組手の部でも釧路百練塾の二人とともに出場した佐賀二ナサラさん（標津中一年）も優勝、さらに個人戦でも組手の部で準優勝となりました。

このほか個人戦で四人が五位までに入賞するなど、これまでにないい好成績をあげました。



走り幅跳びで全道優勝

小黒 古黒

上古多穂小学校四年の黒沢文恵さんが、七月二十三日、旭川市で行われた北海道小学校陸上競技大会に出場し、走り幅跳びの部で見事優勝しました。

黒沢さんの記録は3M84。本人は「全道ということで緊張の連続。暑くてバテ気味だったけど頑張りました」と話してくれました。今後の活躍が楽しみです。

ポー川史跡自然公園に ヒカリゴケ繁殖

ポー川史跡自然公園では、「カリカリス遺跡」の竪穴式住居内にヒカリゴケが繁殖しており、光を浴びて黄緑の蛍光色を輝かせています。

ヒカリゴケが生息しているのは、約千年前のオホーツク文化時代のものとなるカリカリス遺跡の復元住居の内、六号住居内の土間。ヒカリゴケはこの住居内に復元された炉の周辺を中心とした火山灰を固めた土間に生息しています。

同公園の相田学芸員によると、このヒカリゴケは約五年前に発見して以来、徐々に繁殖し同住居内に広がっていると話しており、同公園では、このヒカリゴケが新しい展示物として注目を集めるものとして期待を寄せています。



故人の霊慰め

平和を祈る

終戦の八月十五日、殉公者追悼式が農村環境改善センターで執り行われ、式典には同関係者や遺族約百人が参列しました。

式辞で町長は、「誰もが健康で心豊かに、住んで良かったと喜びを分かちあえる町を築くために、活力みなぎる郷土の創造に努力を重ねる」と述べ、続いて、道知事（代理）、道連合遺族会会長、町遺族会会長がそれぞれ追悼の言葉を述べました。

このあと、国の木のサクラ、町の木のナナカマドなどを植樹し、参列者が次々と菊で飾られた祭壇に献花、百四十二柱の霊を慰めました。

青年開発会議の活動終了 町長に報告

昭和六十一年に発足した青年開発会議（委員二十人）が三期目の活動を終了し、七月二十八日、座長の石橋昌幸さんから小田桐町長にその成果を報告しました。

平成四年に委嘱された第三期青年開発会議は、異業種間交流を推進し活動を広げることとを柱とし、本町のまちづくりについてプロジェクト事業を主な題材に十数回にわたる会議を開き、更には、現在町が進めている「ストーリーのあるまちづくり計画」の重点である景観整備について先進地視察など積極的な活動を実施してきました。そうした中で、委員相互の交流が深まり、お互いの職業について理解し、同一認識をもつことにより、今後の課題に協力して取り組むという結束を固めました。



お年寄りの介護を学ぶボランティア介護セミナー

高齢化社会を迎えている今、一般町民やボランティア団体を対象に八月一日から三日間にわたり、町などの主催により、ボランティア介護教室が開かれました。

受講したのは、主婦や高校、中学生の二十四人。最初の二日間は、町農村環境改善センターで町栄養士・歯科衛生士、札幌ほけ老人を抱える家族会会長による講義や実技指導を受け、三日目には、特別養護老人ホーム標津はまなす苑を訪れ、入所者との交流のほか、中学生六人が標津病院で一日看護婦を体験するなどお年寄りの介護について学びました。

人に役立つ遠足?! — 標津中 —

ただ歩いて、ご飯食べて、レクやって…という遠足ではありません。七月十八日、標津中学校（山西幸三校長）一年生（五十八人）は、自分たちの知恵をしぼって企画し、自分たちの行動力で準備や進行、後片付けまでをすることを目的に、伊奈仁までの往復10kmの遠足を行いました。題して「人の役に立つ遠足」…。

この行事は、①「交通安全、資源保護などを訴えるキャンペーンを行う」 ②「酪農体験」 ③「奉仕活動としてゴミ拾いをする」もの。

生徒たちはそれぞれメッセージの書いた看板を手に、国道を走行する車に一生懸命訴えていました。



平成七年秋場所 (敬称略)

※年齢は9月1日現在

東				<h2>標津町 長寿番付表</h2> <p>(敬称略) 平成七年 九月十五日</p>	西			
横綱	土井フジ	96	桜木町		横綱	遠藤カツ	95	上古多藏
大関	大建キグ	94	菰柴町		大関	畑 繁次郎	94	菰柴町
関脇	徳永トキエ	94	桜ヶ丘町		関脇	亀田 勇	93	忠 類
小結	出口キク	92	菰柴町		小結	吉村ふち	92	菰柴町
前頭	西根チメ	92	菰柴町		前頭	渡邊みのり	91	桜木町
2	若杉寅吉	91	茶志備		2	東海林どめ	91	菰柴町
3	森本ヨシミ	91	共柴町		3	川畑チカ	91	川上町
4	山口判吉	90	本 町		4	高嶋増太郎	90	菰柴町
5	岡部清志	90	新川上町		5	矢部むめの	90	北川北
6	谷内ツネ	90	伊 茶 仁		6	及川ハル	90	緑 町
7	中川原ハル	90	東川北		7	高橋マサル	90	寿 町
8	上部 正キ	90	菰柴町		8	足田ヨシ	90	柴 町
9	工藤幸三	89	川上町		9	下山フサ	89	北川北
10	伊藤馬次	89	旭 町		10	渡辺キセ	89	茶志備
11	千葉コト	88	菰柴町	11	戸田チヨ	88	住吉町	
12	中島あき	88	菰柴町	12	山崎はな	88	菰柴町	
13	秋元勝義	88	菰柴町	13	丸山かつ乙	88	西古多藏	
14	嶋倉みつ	88	菰柴町	14	若杉ふで	88	新川上町	
15	坂口正シ	87	菰柴町	15	川田ハツ	87	菰柴町	



東前頭13枚目 (88歳)
秋元 勝義さん

長生きの秘けつは、のんびりしていることと、毎日の晩酌のお蔭かな？食べ物好き嫌いはありませんね。私は津軽生まれなので、津軽民謡が大好き。食事の時もカセットを離さず聞いているほどですよ。ハッハッハッ。

今場所の声

長生きの秘けつは、特にありませんよ。日頃から腹を立てないように、くよくよせず自分のことは自分でやるようにしています。体の痛いところもなく、ありがたいことです。今でも裁縫をやって、綿入れなどを縫っていますよ。



西前頭筆頭 (91歳)
渡邊みのりさん

年齢別

人口調べ

平成7年8月1日現在の住民基本台帳より

年 齢	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
男	409	442	415	451	529	448	365	175	69
女	419	460	411	433	558	467	359	270	126
計	828	902	826	884	1,087	915	724	445	195
割合(%)	(12.2)	(13.3)	(12.1)	(13.0)	(16.0)	(13.4)	(10.6)	(6.5)	(2.9)

65歳以上、全体の14.6%を占める

※この表では読み取れませんが、総人口6,806人の内、65歳以上の高齢者は977人で、全体に占める割合は14.6%に達しています。

みんなの広場

皆さんの声を—
このコーナーに
お寄せください

児童公園(緑町)の 安全対策について

Q 恵盟寮と二階建ての福
祉型公営住宅の間にある

緑町の児童公園の安全対策につい
て、次のとおり早急に対応願いま
す。

① 三台あるすべり台の内、一番
小さなすべり台の階段を上った
一番高い所の両脇に支えがなく、
子供が転落する恐れがある。



緑町の児童公園

② 公園のすぐ横に道路があり、
車が通過しているにもかかわらず
柵がなく、古タイヤが埋め込
まれているだけで小さな子は、す
ぐに道路に出て遊んでしまい危
険な状態である。
以上のとおり、事故が起きてか
らでは遅く、親達の間で不安の声
が聞こえていることから、安心し
て子供を遊ばせる環境づくりをお
願いします。

(緑町・主婦より)

A

①の小さなすべり台は、
一般的に今の手すりをつ

けた構造で危険を防げるものとし
て設計されたものと思われまが、
現地調査したところ小さなお子さ
んの場合、手すりのすき間から落
ちる危険がないとは言えず、この
防止策のためさっそく鎖を取り付
けました。

②は、今年度、町内すべての児
童公園の総見直しを行うこととし
ており、フェンスの整備はその中
で検討します。

以上のように対応いたしますの
でご理解をいただき、その間、く
れぐれも事故防止にご協力くださ
い。

時事川柳

過去として 葬ることの 難しさ
その影は よらば大樹の かげだつた
義理だけは 欠くなど親の 物語り
庭先の煎箱に集う 小鳥たち
教え子の 花嫁姿 華麗なり
肥満体 レギュラーがさは 肩が濡れ
タンポポは 舗装のわれめ 花咲かせ
野付かんぞう キツネ戯むれ 天然の美
孟蘭盆会 提灯ぶらぶら 踊りの輪
親と国 捨てて花嫁 嫁ぐ悲話
たくましい 農夫の筋肉 蚊も刺せず
排気ガス 野菊喪服に 衣替え
ミミクルだ 北もやるわい 旭美だ!

布施惣一郎
" "
今泉 順一
" "
戸村 寿生
" "
太田 明人
" "
木枯紋次郎

ご意見や感想な
ど、お寄せくだ
さい。
▽あて先
標津町字標津3-5
役場広報統計係「み
んなの広場」コー
ナーまで。
※ただし、人や団体の
中傷となるものはご遠
慮ください。

サケのそ上クイズで 見事ピタリ賞

千葉県 の平井さん



標津川を第一号でそ上した大物
のサケ(重さ4・2キロ)

正解は、
「8月9日、
午前6時55分」

町観光協会
(佐藤俊明会長)
が毎年実施して
いる標津川に
シーズン初めて
サケがそ上する
日時を当てる
「標津川サケそ
上クイズ」の当
選者が八月十五
日、同協会の佐

藤会長らの抽選により決定しまし
た。そ上したのは、八月九日午前
六時五十五分。同協会からの委託
を受けている道さけます増殖事業
協会職員が確認。重さ四・二キロ
の立派なお魚を確認しました。

応募者総数三、〇一八通のうち
ピタリ当てたのは一人で、千葉県
松戸市の平井澄孝さん(四〇歳)。
賞金五万円と東京へ中標津往復航
空券ペアーと標津宿泊券ペアー二
泊が贈られました。

同クイズでピタリ賞がでたのは
三年振り、その他の応募者のうち
から釧路市の岡倉栄子さんら二十
人にラッキー賞の標津産新巻鮭が
各一本贈られました。

桜井(良マリリン)さんの

じゅんいちろう
淳一郎くん (H6.9.7生)
南川北 12



	身長	体重
★生まれた時…	52.2cm	3,800g
★今では……	76.3cm	9.2kg



お母さん
からの
メッセージ

お風呂が大好きで、手でパチャパチャ遊ぶ淳一郎はとても元気です。やさしく、健康な子に育ててほしいですね。

アオサギの生態の研究のため、標津川河口付近で双眼鏡を片手にフィールドノートにメモを取っているのは、今年四月に札幌から本町の住民になった松長克利(まつなが・かつとし)さん(30)。現在、北大大学院地球

新町民に
スポット

北大大学院生

松長 克利さん



「標津でアオサギの研究をしています」

で初めてのコロナリーであることが判明されています(「ボー川史跡自然公園紀要」より)。「道内のアオサギのコロナリー20数カ所はほとんど回ったが、ここ標津は採餌場所が野付半島と限定さ



野付半島の湿原で松長さんが撮影したアオサギ

のまちは初めて。人口の割には活気のある漁師まち。みなさん親切ですね。町民のみなさんにひと言…「自然豊かなまちなので、自然を大切に。アオサギは毎日、ま

環境科学研究所・博士課程在学中で、博士号の取得を目指している研究者。本町でのアオサギの営巣地(コロナリー)は、平成元年に標津川河口の古川に囲まれたカラマツ林で約30巣を発見、根室地方

れ、研究するには最も適しています。「アオサギは、よく見るときれい。目つきはは虫類で恐竜の「テラノドン」を見ている感じ」とアオサギの魅力を話す。標津のまちなちの印象は、「海沿い

ちの真上を往復しているが、町民には以外と知られていないのが残念。興味のある方は、なんでも聞いてください。趣味は、山登り。昭和40年7月27日、愛媛県松山市生まれ、独身。

アヒル7羽が仲間入り

サーモンパーク



サーモンパークの大池にオオサカアヒル7羽が、このほど仲間入りしました。このアヒルはサーモン科学館がひなで購入、釧路市動物園に依頼し、3カ月飼育されたもの。

これで、アオクビアヒル2羽と合わせて9羽になり、観光客や町民から「かわいい」と人気を呼んでいます。

「あいさつを
忘れぬように」

ゆきな
高橋 千奈さん (18)

= 標津林産工業協同組合勤務 =

標津高校卒業後、今年四月に同組合に入社した高橋さん。仕事は経理事務。「仕事は難しいですが、やりこたえがあり、段々とおもしろ味が出てきました」と意欲的。

会社では、お客さんの対応に特に気をつけており、「あいさつは忘れないように」を motto に心掛けています。

趣味は、お菓子づくり。クッキーやマドレーヌは「おいしい」と評判とか…。「今は、一生懸命働いて、早く車を買いたいことが目標」。

フシシユさん



行方不明者相談

行方不明者相談所が開設されます

道警では、家出をした人や行方不明になっている人を捜したり、亡くなった方で身元がわからない人の調査をして家族の方々にお知らせするため、次のとおり「行方不明者相談所」を開設します。

■日時 9月7日(木)～8日(金)

午前9時30分～午後4時

■場所 釧路警察署

★お問い合わせは、最寄りの警察又は派出所、駐在所まで。

まちづくり

アンケート調査にご協力ください

北海道では、21世紀という新たな時代に向けて新しい総合計画を作成するために、1万人の道民の方々に21世紀の北海道についてのアンケート調査を実施します。

アンケートは、道民の方々が、現在の生活、これからの生活、北海道の将来についてどのように考えているかをお伺いするものです。

1万人の方々は、全道市町村の選挙人名簿から統計的な方法によって無作為に選んでいます。

調査票は10月に送付の予定ですが、もしお手元に届きましたらこの調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

★詳細については、根室支庁地域政策課(01532-3-6131)まで。

助成金

「コミュニティ助成事業」によりイベント用品を購入しました

しべつ港まつり実行委員会(後藤一郎会長)では、(財)自治総合センターが宝くじ普及広報事業として行っている「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、テ

ント、発電機、拡声器などを購入し、今度のしべつ港まつりの充実したものとなりました。これにより、港まつりはもとより、各種イベントの充実と同委員会の活動推進が図られます。

標津病院

駐車場が完成しました

国民健康保険標津病院の新築に伴い、この度、駐車場(82台収容)が、厚生年金・国民年金積立還元融資により完成しました。

標津病院で「人間ドック」の受診を

健康は、すべての人の願いです。「人間ドック」で日常気づかない体の赤信号をキャッチし、恐ろしい成人病の予防をして、健康管理に努めましょう。

★詳しくは、標津病院☎2-2111へ。

統計調査

国勢調査にご協力をお願いします

10月1日、全国一斉に5年に一度の国勢調査が行われます。

9月下旬から調査員が皆様のお宅に調査票の記入のお願いに伺いますので、ご協力をお願いします。

★お問い合わせは、役場企画振興課広報統計係(☎内線110)まで。

寄付ありがとうございました

- 町社会福祉協議会に——
活動資金として
・阿部光信さん(中標津町)
・佐藤美重さん・佐藤保次さん
・聖友標津支所
- 町に中央公民館図書購入費として
・渡辺宇良子さん
- 中央公民館図書室に本を——
・キャサリン サルカーズさん
(元標津町英語助手)
- はまなす苑に——
・宮井良三さん・龍雲寺
・小林理容店・チェリー会
・佐藤豊治さん(尾岱沼)
- 標津病院に——
・漁協婦人部

町内の交通事故

	8月 ()は累計
人身事故	4件(10件)
負傷者	4人(13人)
死亡者	2人(2人)
物損事故	27件(125件)

死亡事故ゼロの日

15日(8/15現在)

第31回

しべつあきあじまつり

■日時 10月1日(日) 午前10時～午後2時(雨天決行)

■会場 サーモンパーク広場

各種催しが盛りだくさん!!

ご家族でお越しく下さい。

役 場

☎ 2 - 2131 (代表)

状態、容態を

※標津消防署では、職場、団体などによる救急法（人工呼吸、心臓マッサージ）の実技講習会の申し込みを受け付けています。講習を希望される場合は標津消防署（☎2-2319）まで一標津消防署一

スポーツ

☆9月のスポーツ☆

1日（金）・6日（水）・8日（金）

▷子供水泳教室

[19時～町営プール]

7日（日）

▷第27回道民スポーツ根室夏期大会・

第35回根室管内スポーツ交歓会

[8時45分～別海町]

10日（日）

▷町内会婦人部ミニバレー大会

[10時～総合体育館]

12日（火）

▷第14回標津町ゲートボール大会

[10時～川北多目的広場]

13日（水）・26日（火）

▷水泳マークテスト

[19時～町営プール]

15日（金）～16日（土）

▷スケート実技講習会

[14時～総合体育館]

17日（日）

▷第11回団長杯オホーツク卓球トーナメント

[9時～総合体育館]

22日（金）

▷第13回根室地区老人クラブゲートボール大会

[10時～標津中グラウンド]

24日（日）

▷第23回オホーツクマラソン大会

[9時～町内]

27日（水）

▷町内中学校新人戦大会

[9時～総合体育館]

30日（土）

▷プールサイドまつり

[18時30分～町営プール]

健康相談・健診日程表

〈9月分〉

※農改センター…

農村環境改善センターの略

乳幼児

■乳幼児相談

19日（火）〈標津〉

[9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/農改センター]

※午前の部 10・13カ月児、午後の部

4・7カ月児対象

21日（木）〈川北〉

[13時30分～14時30分/川北公民館]

※4・7・10・13カ月児対象

■3歳児健診

27日（水）

[13時～14時/役場2F集会室]

■歯ピカ教室

4日（月）・5日（火）

[9時30分～10時30分、13時30分～

14時30分/農改センター]

成人

■一般健康相談

4日（月）

[10時～11時30分/薫別集落センター・13時30分～14時30分/崎無異中野さん宅]

22日（金）

[13時～16時/役場相談室]

■糖尿病健康相談（予約制）

20日（水）

[10時～16時/役場相談室]

■子宮ガン検診

25日（月）

[9時～9時30分/川北公民館]

[13時～13時30分/農改センター]

■住民検診

30日（土）・10月1日（日）・10月2日（月）

※詳しくは、広報に折り込みしたチラシをご覧ください。

★お問い合わせは、役場福祉保健課☎内線129・131・138まで。

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	9月7日・9月21日 10月5日 (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	9月8日・9月22日 10月6日 (金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	9月6日・9月20日 10月4日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

国民年金

病気やケガなどの場合「申請免除制度」があります

～みんなが加入、みんなで支える

国民年金シリーズ③～

国民年金保険料は、毎年定額により納入することになっていますが、病気やケガなどの不測の事態などで保険料を納めることが困難な方には、保険料が免除される「申請免除制度」があります。

免除された期間の年金額は3分の1に減額され、免除された期間の保険料は10年後までさかのぼって納める追納制度もあります。

★年金に関する相談・お問い合わせは、役場住民課国民年金係（☎内線130）まで。

くらし

お年寄りに公衆浴場を無料開放!!

北海道では、「敬老の日」にあわせてお年寄りに日頃の疲れをいやしていただくために、次のとおり公衆浴場を無料開放します。

■期 間 9月13日(水)～15日(金)

■対象者 満65歳以上の方

■利用施設 公衆浴場 楠(くすのき)

■利用方法

①対象者は受付に申し出てください。

②介添を要するお年寄りの方は、介添者についても無料となります。

③期間中は何回でも利用できます。

★お問い合わせは、役場住民課（☎内線130）まで。

「すこやか」のびのび教室が実施されます

■目 的

親と子が一緒になって正しい食生活や運動、生活習慣について楽しく自然に体得することを目的とする。

■日 時

10月11日(水) 13時～15時30分

10月23日(月) 13時～15時15分

■場 所

中標津町総合文化会館

■対 象

3歳児から就学前までの幼児とその親

■内 容

10月11日

(1)身体測定 (2)医師講話 (3)座談会 (4)親子の運動教室その1

10月23日

(1)親子の運動教室その1 (2)調理教室 (3)教室のまとめ

■申込期日 10月2日(月)

★申し込み及びお問い合わせは、中標津保健所（☎01537-2-2168）まで。

働く楽しさは、みんなのもの

～9月は障害者雇用促進月間です～

ハローワークでは、仕事を探している多くの障害者が登録されています。

障害者とその適性と能力に応じ、可能な限り一般雇用で就くことができるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

★障害者の雇用にあたっての相談は、ハローワーク中標津分室（☎01537-2-2544）まで。

保健・医療

難病無料集団検診が実施されます

■日 時 9月30日(土)

受付時間 9時～11時

■会 場 国立弟子屈病院

■対 象 者 病名や原因不明の疾患など難病と思われる受診希望者

■申し込み 当日直接病院で申し込みしてください。

★お問い合わせは、国立弟子屈病院（☎01548-2-2117）まで。

交通安全・防災

死亡事故が発生！ ～確実にシートベルトを～

行楽シーズン中の交通事故が多発しており、7月31日に2件の死亡交通事故が発生し、昨年から続いていた本町の交通事故死ゼロが241日でストップしました。

運転者は確実にシートベルトを締め、法定速度を守り、安全運転に心がけましょう。



(写真は、伊茶仁での死亡事故のもの)

秋の全国交通安全運動実施中!!

■期 間

9月21日(木)～30日(土)

■スローガン

「安全はスピードダウンとゆとりから」
「シートベルトしめる習慣あなたから」

■重点事項

①スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止

②シートベルトの着用の徹底

9月9日は救急の日

■救急車の正しい呼び方

①火事と救急の区別

119番を回して落ち着いてはっきり「救急です」。

②住所、氏名、目標

〇〇町の〇〇です。目標は〇〇商店の南側です。

③事故か病気かの区別を

④傷病者の数、性別、年齢、傷病者の



「なぜ、北海道に住もうと思ったの？」

私が新潟出身であることを知った人は、必ずと言っていいほどそう尋ねます。そんな時、私は「もちろん、自然が好きだから」と答え

見渡す限りの牧草地。険しいながらも大きく、どっしりとした山々。海に浮かぶ国後島。ど

『都会生活改メ』

標津生活ノススメ

こまでも真っ直ぐな道。草を食む牛の白黒のコントラスト。あまりにも大きく、降ってきそうな満天の星…。

日本のどこを見ても、これだけの自然がそろっている場所はないでしょう。

春は山菜採り。夏は山登り。裏の畑でさやかな農作業。自転車で疾走。秋は紅葉を道の両側に見ながらドライブ。冬は金山でスキーと、四季それぞれの自然を最大限に利用して楽しんでいます。

先日、こんな一件がありました。

上京した折、久しぶりにあった学生時代の友人が、私に向かってこんなことを言ったのです。

「泳ちゃん（私のこと）、しゃべり方が変わったネ」

以前から話す速度

佐藤泳子さん

(川北桜ヶ丘町)
= 川北中学校・教諭 =

がゆっくりだと言われていた私は、少し速くなったのかと尋ねました。するとその友人は次のように答えました。「とんでもない。その反対。益々遅くなったよ」

二人は、顔を見合わせ爆笑しました。

……どこを見てもあふれる人、人、人。鳴り響くクラクション。夜、空を見ても星は見えず。下を見れば人々がまき散らしたゴミ。ビルの谷間のよどんだ空気…。

そんな都会で暮らしていると、どこに行くにも、そしてどんな時でも、急いで歩いてしまう。周りの自然から四季を感じることすらできない。一年四か月前…。人々が心を「く」している忙しい都会生活に別れを告げ、一人、標津にやってきました。

ここでの暮らしが先通りの。何か追い立てられるようにせかせかする必要のない、そんなゆったりとした気分を毎日過ごしています。

※次の「まちの声」は、弥栄町の村上幸子さんです。

戸籍の窓口から

(7月11日～8月10日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
中村 衣梨那ちゃん	若草町	中村 尚季・朋子
笹本 夏加ちゃん	弥栄町	笹本 裕一・美佐
下村 奈美ちゃん	弥栄町	下村 浩司・広美
松田 友花ちゃん	曙町	松田 則仁・珠美
川上 一郎くん	住吉町	川上 裕行・恵
小野 史美ちゃん	曙町	小野 歩・亜由美

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
桑木 基靖さん	天内千秋さん	緑町
遠藤 永司さん	大森美智代さん	鳩ヶ丘町
中村 和男さん	松本裕美子さん	桜ヶ丘町
田中 映地さん	粕谷 直美さん	桜木町
椎久 紀孝さん	木下 知子さん	薫別
木村 祐智さん	泉山 円さん	弥栄町
小室 英雄さん	井関真由美さん	緑町

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
佐藤 保さん	弥栄町	68歳
中村 勝行さん	曙町	54歳
得能 清松さん	栄町	86歳

人のうごき

人口	6,806人 (-16)
男	3,303人 (-5)
女	3,503人 (-11)
世帯数	2,327世帯(-2)

※平成7年8月1日現在()は前年比

▷忠類川のサケ・マス釣獲調査取材のため、初日(8月11日)朝3時半に、釣った瞬間を自分の腕(?)でカメラにと勇んで現地に向かった。しかし甘かった。胴長の必要性を現地についてから気づいた。釣れているのは遠い向こう岸の人。行きたくても行けないこのつらさ。近くの人が釣ることを期待して6時半ごろまで粘ったが、結果は言うまでもない。▷数日後、またチャレンジしたがダメ。そのうち釣り人から「あんた釣りもしないでなにしてんの?」と質問され、「〇〇〇」と説明。「今日はだめだぞう」と激励(?)のお言葉。そんな訳で、ようやく4日目で表紙の写真となったが、アングルがいまひとつ。正面から撮れたらなあー。(ひ)